

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 山崎、一般 1 名 以上 2 名

2. 山城／ルート 大雪山系 十勝岳/三段山

3. 交通手段 飛行機、車

4. 行動記録

<入山日 2022 年 3 月 14 日 ~ 下山日 2022 年 3 月 15 日>

第 1 日 3 月 14 日 7 時頃旭川出発 → 8:30 吹上温泉 白銀荘
白銀荘 9:30→11:30 十勝岳避難小屋→15:00 白銀荘
合計 4 本滑走 (所要時間 5 時間 30 分)

第 2 日 3 月 21 日 6:00 起床→8:30 白銀荘発→三段山の二段目付近→11:00 白銀荘
12:00 ビーコンサーチトレ (30 分程度) (所要時間 4 時間)

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

- 1 日目は雪の状況により、三段山から十勝岳山麓に変更した。
- 2 日目は強風雪のため、予定より行動時間・滑走距離を短縮した。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・一日目：樹林のない開けたメローな斜面へ。ガスのため展望はあまりなかったのが残念だったが、全体的に穏やかでゆったりした山行になった。昨年も同じ斜面に入ったが、今年は昨年の倍以上の距離のロング滑走も楽しめた。また、昨年苦労した白銀荘へ戻るルートも、ストップ雪の状況下でありながら今年はスムーズに行動できたことが嬉しかった。

・二日目：風の強いところを避け、三段山の疎林エリアでツリーラン。木に守られているはずが、それでも常時体感 15m ほどの風と雪で、サングラスは完全に凍り付き使用できなくなる状況だった。登高中に苦しく感じてバラクラバを顎まで下げていたところ、凍傷の危険があるため肌を出さないよう同行ガイドから注意を受けた。経験も自覚もなかったため、この程度で凍傷になるのかと驚いた。今後も気を付けたい。

途中、ドーン！と地響きすら感じる轟音を聞いた。雷！？と思ったが、ガイドと相談した結果とりあえず様子を見つつ山行続行。結果的に轟音はその一回のみだったので、自衛隊富良野演習場の訓練の音（例年は雪解け後は頻繁に鳴る）だったと推測。あれが雷であれば恐怖でしかなかった。

この日の雪質は極上パウダー、かつ、ツリーランで初心者の私には難しい、未経験の滑走コンディションだった。転ばないように、木に衝突ないように…。恐る恐るしか降りられず、

残念ながら爽快感を感じるには至らなかった。それでも、ゆっくりでも木の間を通り抜けていくのは、開けたバーンとは違う楽しさがあると思ったし、新しい経験をできたことがとても嬉しかった。

・全体：登高、滑走とも、全体的に去年よりレベルアップできていたのではと感じられた。去年より脚ができていてガイドからコメントをもらえたとし、去年は転んでばかりだったのが今年は全体を通して2回に抑えられた。とはいえ、まだまだであることもこの上なく実感したので、どんな斜面・コンディションでも安全に心から楽しく滑れるようになることを目標に、体力アップと技術向上を目指してトレーニングを続けていきたい。

・その他：白銀荘泊は非常におすすめ。立地は山から徒歩ゼロ分で宿だし、快適な自炊室で好きなメニューを気兼ねなく楽しめるし、朝から天然かけ流し温泉に入れるし。あと、春限定フレッシュいちごトッピングのソフトクリームが最高です♡(日帰りでも食べられます)

報告者氏名 山崎 綾華

2022年4月4日

十勝岳避難小屋直下にて 滑走モードへ切り替え中の私



白銀荘のイチゴソフト♡



別日ですが層雲峡でトップロープのアイスクライミングも

